

第30回 紅花写真コンテスト 受賞作品紹介

第30回白鷹紅花まつり写真コンテストへのご応募誠にありがとうございました。今年も町内外の多くの方からご応募いただきました。受賞作品をご紹介します。

荒砥駅内紅の里 SHOP ギャラリーにて12月にカレンダー「しらたかの四季」写真とともに展示しますので、ぜひご覧ください。



「紅を摘む」

加藤 弘一 氏 (南陽市)



特選「絶景、大紅花畑」
鈴木 亮 氏 (長井市)



入選「花摘み」
西村 栄一 氏 (米沢市)



入選「べにばなの里山」
近野 範夫 氏 (天童市)

【問い合わせ】(一社) 白鷹町観光協会 ☎ 86-0086



年に1回はフラワー長井線に「乗って応援」しよう！

山形鉄道フラワー長井線は、利用者の減少や、コロナ禍での観光需要の落ち込み、燃料費高騰が経営状況に影響を与えています。フラワー長井線存続のためには、日常的に住民の皆さまからご利用いただくことが不可欠です。

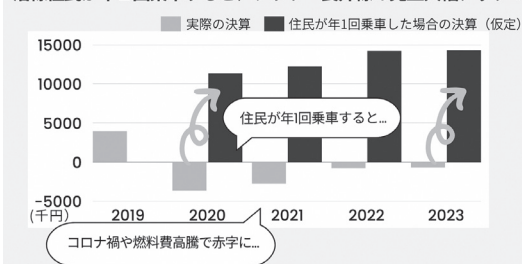
たとえば、沿線地域(長井市、南陽市、川西町、白鷹町)の住民約7万8千人が、1人年1回初乗り料金(190円)で乗車した場合、1年間で約1,500万円の売上げ増となり、フラワー長井線の売上げ維持に大きく寄与することができます。

鉄道維持は、私たちの暮らしや未来に直結した問題です。皆さまの日常的なご利用が鉄道を守り、地域の笑顔と活気を未来へつなぐ力となります。フラワー長井線に乗って応援していきましょう。

【問い合わせ】企画政策課企画調整係 ☎ 85-6123

＼ みんなで応援しよう!! /

沿線住民が年1回乗車すると、フラワー長井線の売上大幅アップ！





クマ出没

ご注意を！！

【問い合わせ】総務課防災管財係 ☎85-6122 / 林政課森林整備係 ☎85-6125

山形県全域また町内でのツキノワグマの出没が相次いでおり、白鷹町内においては、今年に入ってから8月末現在で89件の目撃情報等が報告されております。

ツキノワグマは冬眠に向け、9月～11月にかけてブナ類の実（ドングリなど）を中心に食べるようになりますが、果樹等の餌を求めて人里に出没する可能性があります。

クマとの遭遇を避けるため、クマを引き寄せないために必要なこと

クマが人里に出没するにはさまざまな要因があります。特に下記の要因を減らすことで効果が期待できますので環境整備に対する地域の方のご理解とご協力をお願いします。

1、クマが隠れやすい環境を減らす

家屋や畑の周辺の藪や草むらはクマが隠れやすい状況となります。できるだけ藪払いや草刈りをして見通しを良くしましょう。

2、クマの餌となる誘引物をなくす

家庭から出た生ゴミ、廃棄された農作物、未収穫の柿や栗の実等は野生動物の魅力的な餌であり、これらの放置は野生動物を誘引することになります。家屋や畑の周辺に農作物や生ゴミ、また未収穫の柿や栗は放置しないようにしましょう。

秋の行楽シーズンにクマと遭遇しないために



- ①山や森に入るときは、一人ではなく複数で行動しましょう。
- ②出没情報があつたところには近づかないようにしましょう。
- ③クマに自分の存在を知らせましょう。ラジオやクマ鈴、笛など、音の出る物を携帯し、クマに自分の存在を知らせることで、遭遇することを防ぐことができます。
- ④子連れのクマに注意しましょう。子グマを見たら、近くに母グマがいるものと警戒してください。母グマは気性も荒くなりやすく大変危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。
- ⑤万が一、クマに出合ったら、背を向けずに、クマを見ながらゆっくり後退してください。
- ⑥ごみは必ず持ち帰るよう徹底してください。

令和8年度農作物被害防止用電気柵補助事業の要望調査を実施します

令和8年度に農業用作物における鳥獣被害を防止するため電気柵を設置する予定があり、補助事業を活用したいという方の要望調査を行います。

■対象者：農業者または農業者グループ、町内単位の集落

■提出方法：下記の書類を林政課に提出してください。

①要望書（住所、氏名（団体名）、農作物名、事業費、設置延長、設置場所を記入）

※要望書は、白鷹町役場林政課に備えております。

②電気柵を設置する場所がわかるもの

（注）集落で広域電気柵の整備に取り組む場合、3戸以上で合意形成を図り電気柵の設置、維持管理等の取り組みを集落全体で一体的に行う必要があります。

■提出期限：令和7年11月5日（水）まで

注意：令和8年度補助制度に向けた要望調査のため、補助金の交付をお約束するものではありません。

【問い合わせ】林政課森林整備係 ☎85-6125